



田川の祭り
写真コンテスト
作品募集中!

田川の祭り 写真展 2018

2018年5月23日(水)~6月10日(日) 月曜休館 入場無料

田川市美術館 中央展示室 9:30~18:30 (入館は閉館30分前まで)
※最終日は16:30まで



豪華賞品がもらえる
田川の祭り写真コンテストを開催!



あなたの写真が美術館に展示される!? 田川の祭りに出かけて、写真コンテストに応募しよう! すべての田川の祭りが対象になります。人の少ない神幸祭にこそ、シャッターチャンスがあります。熱いあなたの写真をお待ちしています。詳しくは裏面を御覧ください!



文化交流祭に参加して
「田川の祭りVR」を体験しよう!



会場では大型テレビによる迫力ある映像が流れます。休みの日には様々なイベントが企画され、神楽や文化伝統芸能が美術館で行われます。神楽を鑑賞して、神幸祭を空からながめる「田川の祭りVR」を体験してみよう!



田川の祭り写真コンテスト 応募要項

田川の祭り写真コンテストは、一般市民や観光客に広く開かれたコンテストです。すべての田川の祭りが対象でどなたでも無料で応募できます。入賞すれば美術館に展示され豪華賞品が贈られます。今年の神幸祭は英彦山に始まり田川市美術館でフィナーレを迎えます。あなたの写真で「田川の祭り」の新たなフィナーレを飾ってみませんか？

- 題材：田川市、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町の「田川の祭り」をテーマにした自由作品（ただし、2017年6月～2018年5月に撮影された写真に限る）
- 展示方法：田川市美術館で行われる【田川の祭り写真展2018（入場料無料）】で掲載します。
開催期間：2018年5月23日（水）～2018年6月10日（日）
- 表彰：結果発表および表彰式は、2018年6月2日（土）14時から美術館で行います。豪華賞品を副賞とした【優秀賞】【地域賞】などの各賞や、神楽などの『文化交流祭』の内容は2018年5月8日（火）の記者発表で公表させていただきます。
- 応募規定：
 - ① 作品は2017年6月～2018年5月に田川広域で撮影したものに限りします。
 - ② 肖像権は撮影者（応募者）が所得しているもののみ応募可能です。
 - ③ 応募者本人が撮影し、すべての著作権を有している作品に限りします。
 - ④ プリントでの応募は受け付けません。ホームページの応募フォームからデジタル・データでお申し込みください。
 - ⑤ 他のコンテスト等に応募または応募予定の作品では応募できません。
 - ⑥ 作品の著作権は応募者に帰属します。
 - ⑦ 主催者・共催者は作品を無償で優先的に使用でき、田川の祭りの活性化のために使用できるものとします。（その際にはトリミングや加工を施すことがあります）
 - ⑧ 応募規定や応募方法などに違反したことが判明した場合は、賞を取り消すことがあります。
- 参加料：無料
- 出点数：1つの祭りにつき、3点まで（2つの神幸祭の場合には3点ずつの計6点となります）
- 応募方法：Webサイト www.tagawa-no-matsuri.com 専用フォームから申し込み
応募に関する質問は info@tagawa-no-matsuri.com まで
- 締め切り：2018年5月28日（月）23:59 まで



最終週 同時開催 !!

～空撮写真展～

「鳥が見た筑豊・田川と3つの世界 ～伊能忠敬・空海・秦の始皇帝」

開催日：6月5日（火）～10日（日） 場所：田川市美術館 ギャラリーB 料金：大人（大学生含む）500円、高中小学生 無料

ドローンや航空機で撮影した筑豊・田川の史跡や古墳をご紹介します。鳥が見た新たな視点で故郷田川をご覧ください。写真コンテストの入賞者には、空撮写真展の招待チケットをプレゼント致します。

「鳥が見た伊能忠敬の世界」……

没後200年を迎える伊能忠敬は、何度も田川の地に訪れています。伊能忠敬が歩いた田川の道や、十輪院の宝蓋松を空からご紹介します。【協力：伊能忠敬プロジェクト】

「鳥が見た空海の世界」……

香春には「高野」という地名があり、空海と関りが深い場所と伝えられています。空海の生まれ故郷・善通寺、悟りを開いた室戸岬、修行した中国・西安の青龍寺、阿倍仲麻呂も通った大明宮、帰りに立ち寄った越州（会稽）、明州（寧波）、そして帰国後活躍した大宰府、高野山、東寺などを空撮写真でご紹介します。

「鳥が見た秦の始皇帝の世界」……

豊前は秦部の郷であり、秦の始皇帝の末裔と伝えられることもあります。漫画で話題となっている中国・西安の史跡を空撮写真でご紹介します。秦の宮殿があった咸陽宮跡、激戦地となった函谷関、秦と趙の激戦地となった鄴（ギョウ）城跡、秦が攻め滅ぼした邯鄲・趙王城跡、王翦の眠る王翦墓、王賁の眠る王賁墓、始皇帝が眠る秦始皇陵など鳥が見た視点でご紹介します。



主催：田川の史跡プロジェクト お問い合わせは、support@fujidenshi.com まで